

作成日 2026 年 5 月 13 日  
(最終更新日 2026 年 5 月 13 日)

## 「情報公開文書」 (Web ページ掲載用)

受付番号 : 2026-1-161

### 課題名 : 介護施設入居者に関する疫学研究と早期警戒システムの開発

#### 1. 研究の対象

2023 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日の期間に、既存試料・情報の提供のみを行う高齢者施設 (『8. 研究組織』参照) に入所していた高齢者

#### 2. 研究期間

2026 年 5 月 (研究実施許可日) ~2027 年 3 月

#### 3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

当機関で試料・情報の利用を開始する予定日及び外部への提供を開始する予定日は以下の通りです。

利用開始予定日 : 2026 年 6 月 15 日

提供開始予定日 : 該当なし

#### 4. 研究目的

介護施設に入居中の方が、入居中に測定しているバイタルサイン (脈拍数、血圧、SpO2、呼吸数、体温、意識レベルなど) や食事量などの記録の情報を解析し、急変した方々に共通する変化の有無を検討します。また、これら介護施設内で測定可能な情報を用いて、急変予測を行うことのできる早期警戒スコアを開発することを目的とします。

#### 5. 研究方法

- データ収集 : 対象となる介護施設の入所者について、各施設に導入されている電子カルテ等の記録システムを利用し、個人が特定できないよう仮名加工した上で以下のデータを後ろ向きに収集し、時系列ごとにデータとして整理します。データ収集の対象期間は 2023 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日です。
- 収集内容 : 夜間 (19 時~翌 7 時) に、救急搬送に至る全身状態の急変が生じたかどうかのデータを収集します。また、急変前・急変時のバイタルサイン、および急変された方についてのデータ (『6. 研究に用いる試料・情報の種類』を参照) を収集します。
- 早期警戒モデルの開発 : 収集したデータを用いて、夜間救急搬送のリスクを予測する「施設版早期警戒スコア」を開発します。
- モデルの検証 : 開発した「施設版早期警戒スコア」を実際に施設で運用し、予測精度を検証します。

#### 6. 研究に用いる試料・情報の種類

以下の情報を介護施設の電子カルテなどから、個人が特定できないよう仮名加工した上で研究に用います。

基本情報・患者背景 : 年齢、性別、既往歴、内服薬、ADL、要介護度、急変時の方針

施設情報 : 施設種別、医療連携体制の有無

日常の観察項目：バイタルサイン：体温、心拍数、呼吸数、血圧、SpO<sub>2</sub>、意識レベル、  
栄養・食事量、水分摂取量、経口摂取状況、経管栄養の有無  
医療処置：酸素療法の有無など  
容態変化：発熱、嘔吐、転倒などのイベント

## 7. 外部への試料・情報の提供

該当ありません。

## 8. 研究組織

・研究機関：本学単独研究  
・情報の提供のみを行う機関：  
社会福祉法人陽光福祉会 特別養護老人ホームエコーが丘  
施設長・担当者：高田 洋

※今後、宮城県に所在する高齢者介護施設が既存試料・情報等の提供のみを行う機関として参加予定です。

## 9. 利益相反（企業等との利害関係）について

当機関では、研究責任者のグループが公正性を保つことを目的に、情報公開文書において企業等との利害関係の開示を行っています。

本研究は宮城県医療政策課より業務委託を受け地域医療介護総合確保基金を使用して行います。

外部との経済的な利益関係等によって、研究で必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる、または損なわれるのではないかと第三者から懸念が表明されかねない事態を「利益相反」と言います。

本研究は、研究責任者のグループにより公正に行われます。本研究の利害関係については、現在のところありません。今後生じた場合には、所属機関において利益相反の管理を受けたうえで研究を継続し、本研究の企業等との利害関係について公正性を保ちます。

この研究の結果により特許権等が生じた場合は、その帰属先は研究機関及び研究者等になります。あなたには帰属しません。

## 10. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて研究対象者もしくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも研究対象者に不利益が生じることはありません。

当機関における照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

担当者の所属・氏名：東北大学病院 高度救命救急センター、横川京子

住所：宮城県仙台市青葉区星陵町 1-1

連絡先：022-717-7489

Email: kyoko.yokokawa.c7@tohoku.ac.jp

住所 宮城県仙台市青葉区星陵町 1-1

当機関の研究責任者：東北大学大学院医学系研究科外科病態学講座救急医学分野  
教授 工藤大介

#### ◆個人情報の開示等に関する手続

本学が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。

保有個人情報とは、本学の役員又は職員が職務上作成し、又は取得した個人情報です。

- 1) 診療情報に関する保有個人情報については、東北大学病院事務部医事課が相談窓口となります。詳しくは、下記ホームページ「配布物 患者さまの個人情報に関するお知らせ」をご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学病院個人情報保護方針】

<http://www.hosp.tohoku.ac.jp/privacy.html>

- 2) 1)以外の保有する個人情報については、所定の請求用紙に必要事項を記入し情報公開室受付窓口に提出するか又は郵送願います。詳しくは請求手続きのホームページをご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学情報公開室】<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kokai/disclosure/index.html>

#### ※注意事項

以下に該当する場合には全部若しくは一部についてお応えできないことがあります。

- ① 研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ② 研究機関の研究業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合
- ③ 法令に違反することとなる場合